

HSK

どろじん

第 38 号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
H, S, K通巻239号

発行日 平成4年3月10日
(毎月10日発行)

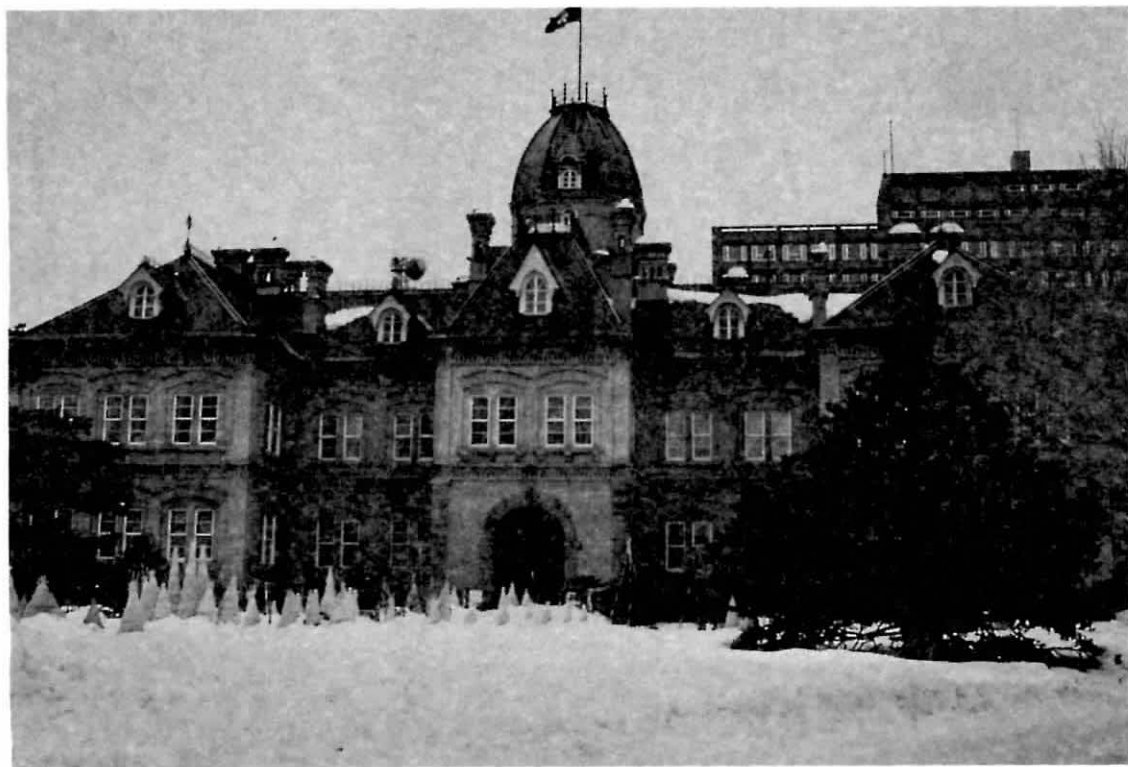
編集 北海道腎臓病患者連絡協議会
札幌市北区北35条西5丁目1-10
AMS南麻生308号

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市北区北13条西1丁目
神原義郎

平成4年 初春号

特集 腎友会会員拡大PR

『あなたは20万円払えましたか?』



北海道庁旧本庁舎 (札幌市)

撮影 永田和之氏

北海道腎臓病患者連絡協議会

今年は「申」年さる

さあ、札幌開催の全腎協総会
みんなの力を結集して

成功させよう



北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 岩崎 薫

戦後数えて4回目、12年毎にくり返されることだが、「申年」を迎えた。

多くの人たちに待たれた年末から年始にかけて連続休暇も過ぎてみると実にあつという間、特に透析患者の私共にとっては時の流れは「光陰矢の如し」「時」の大切さを殊更思う年でもある。大乱の年といわれる壬申(じんしん)1992年が静かにスタートしました。

申年の歴史をひもとくと壬申の乱(672年)桜田門外の変(1860年)、5・15事件(1

932年)、経済恐慌(1920年)など申年の先行き混乱が強調されるが、所詮歴史は人間が創造するもの。ぜひ「良い年」「素晴らしい豊かな年」にあやかりたいものです。

それに今年は腎臓患者仲間の全腎協総会が5月24日(9時30分)札幌市教育文化会館で開催されます。既に開催に伴う実行委員会は昨年だけでも3回、ブロック会議が1回行われております。

記(参考までに)
8月24日(土)〜25日(日)

実行委員会 28名

教育会館 札幌市教育文化会館および定山溪ホテル見学

9月28日(土)〜29日(日)

実行委員会 10名

全腎協 栗原、金子の両氏
来道

北農健保会館

11月9日(土)

ブロック会議 20名

北農健保会館

11月23日(土)〜24日(日)

実行委員会 40名

札幌市教育文化会館

全腎協会長 油井氏

全腎協事務局長 小林氏

栗原、金子の両氏

新年を迎えて実行委員会2回開催予定となっております。当日は東京より関係者2名来道予定

4月5日(日) 難病連

5月10日(日) 札幌教育文化会館

なお総会の前夜の交流会も定

山溪ホテルで750人(道内4

50人道外300人)が予定さ

れるほか総会当日は1,100

人の出席が見込まれており、盛

況にすすめられるものと思いま

す。

今回の総会に伴い一番大きな

問題は道外出席者の殆どが臨時
透析をすることであり、札幌
札幌透析医会会長田島先生にお願
いして在札の各透析施設へ依
頼状をだして頂き、ほぼ370
人近い透析を確保して頂き、大
会当日の日曜日午後4時30分よ
り各施設で治療を受ける事とな
りました。田島先生には特段の
ご配慮を頂いており大会当日ま
でご面倒をみていただきますよ
うお願いしております。

各透析施設までは往路バスを
チャーター致しますのでボラン
ティアの方は同乗していただき
透析終了後のタクシードの手配重
ねてお願い致します。総会任務
分担表(案)も作成し札幌地区
をはじめ各地域の会員の皆様の
ご協力ご支援も得られますよう
先の実行委員会を通じてご依頼
しておりますので、患者会の皆
様には大変なご苦労ですが一人
でも多くご協力下さい。

私共の仲間の全腎協組織がど
んなものであるか、とにかく大
会当日顔だけでもだして下さい。
南は沖縄、九州から全国47都道
府県の仲間が参加しますので、
あなたの出席を是非ともお待ち
しております。

あなたは毎月20万円 払えましたか？

1 腎友会結成の歴史

「あなたは、これから人工透析で一生治療をしなければ生きて行けません」と医師に言われて、これから先の医療費や人生設計の事を考えて愕然とされた事があると思います。そして、今は医療費が無料で人工透析を受けていると思います。

昭和40年代初期に腎不全患者に対して、人工透析という画期的な治療法が健保適用され、施されるようになり、これまで死を待つよりほかなかった人々の延命が可能になりました。しかし、これには人工腎臓の不足と高額な医療費の自己負担という2つの大きな厚い壁がありました。

人工腎臓が足りないということ、は、人工腎臓で治療中の誰かが亡くならないと、自分は透析が受けられないということ、です。

又、医療費は社会保険の本人が生活保護の人は10割給付で無料ですが、社会保険家族・国民健康保険加入者は、当時の金額で毎月20万くらいの自己負担をしなければ治療してもらえません。負担能力

もない人は人工透析という治療法があることを知りながら、その恩恵に浴することなく亡くなっていきました。また透析を始めても治療費が続かず退院して自ら生命を逝った人等、悲劇的な状況でした。

まさに「治療費の切れ目が生命の切れ目」でした。

このような悲劇を繰り返さないために当時の患者達は、人工透析の医療費を公費負担に、人工腎臓を全国的に設置してほしいと立ち上がり、昭和46年6月6日に全国腎臓病患者連絡協議会（全腎協）を結成しました。全腎協の数回の厚生省や街頭デモにより、昭和47年腎機能障害者も身体障害者福祉法の対象となり医療費の自己負担が大幅に軽減されました。（北海道は自治体独自の単独事業、制度適用で透析患者の自己負担はありません。）

2 腎友会の活動

■国会請願の署名活動

毎年3月に全国から代表者が集まって、地元選出国会議員を紹介議員として衆・参両院に対して、

請願行動をしています。これまでの成果は沢山ありますが最近の大きな成果は腎機能障害者もJR・航空運賃割引制度を適用してもらえた事でした。また毎年腎疾患の治療・研究・合併症等の総合対策の推進を請願しています。

■腎臓移植への取り組み

透析療法は、水分・食事や通院時間など厳しい制約がともないます。腎不全の子供は身長が伸びづらい等色々な弊害もあります。

北海道にも「腎臓バンク」があります。現在、移植希望に対する腎臓提供登録者の数は極めて少なく、これを道民的な運動にするために、腎友会では「腎バンク登録者拡大運動」を毎年10月に全道会員、北海道庁、各市町役場、保健所等と合同で腎提供登録を呼びかけています。

3 腎友会にご加入 ください

透析患者は現在医療費の公費負担制度や障害年金の支給等数多くの社会制度に守られています。

これは、皆先輩患者たちが腎友会をつくり生命をかけて運動を続けた成果です。しかし、いまだに財政難により、県単独事業による適用がなく透析医療費の自己負担をしている県があります。

いまのように恵まれた治療と生活がいつまでも続くとは保障されていません。社会保障制度を後退させようとするさざしはいつも見えかくれしています。ひとりの力は弱くても私達皆が力を合わせればこれからくる社会保障制度後退の波を押し返す事も可能です。腎友会に入会されていない方は是非入会されて、あなたのその力を貸して下さいますようお願い致します。

平成3年度国会請願署名・募金集計結果報告

1992. 2. 8現在

ブロック名	全 腎 協		J P C		有料道路
	署 名	募 金	署 名	募 金	署 名
札幌	5,296	329,900	3,285	34,246	1,778
小樽	2,542	124,600	1,048	27,000	511
旭川	1,843	144,301	889	27,332	544
稚内	30	4,615	0	0	0
留萌	1,293	71,000	440	10,000	242
道南	2,156	110,000	—	—	885
苫小牧	891	81,845	581	19,575	288
室蘭	1,308	105,517	—	—	300
滝川	110	2,000	50	0	37
十勝	1,909	147,726	905	14,157	394
釧路	1,926	33,314	744	1,100	389
北見	1,643	18,462	644	5,000	344
網走	1,029	41,000	390	16,350	199
夕張	113	15,600	103	12,600	75
紋別	0	0	0	0	0
岩見沢	222	7,784	101	2,200	46
江別	14	10,000	14	0	18
浦河	325	28,403	161	0	79
根室	271	4,400	91	1,800	51
千歳	94	12,923	93	3,300	56
深川	361	31,000	161	6,732	81
個人	10	15,000	10	1,000	5
合計	23,386	1,339,390	9,710	182,392	6,322
前年度	24,529	1,392,668	10,546	252,053	5,155

※募金配分割合

全腎協募金

地方ブロック 35%
道 腎 協 50%
全 腎 協 15%

J P C 募金

道難病連 80%
道 腎 協 20%

※一は地元難連支部に納入

ブロック使い

札幌ブロック

全腎協総会に向けて

平成4年5月24日、札幌市教育文化会館で行われる、第22回全腎協総会に向けて我が札幌の腎友会の会員は、意気が上がってきている。多分私達が生きている間は、北海道で全腎協の総会が開かれる事はないでしょう。なぜなら、まだ全腎協の総会は22回目なのです。都道府県47ヶ所としてもまだ半分にもならないのです。

そこで、札幌腎友会としても、鈴木会長以下、腎友会の会員は、道腎協のおひざ元でもあるし、是非、全腎協の総会を成功させようと一生懸命にならざるをえないのです。何か事有る事に、道腎協の岩崎会長と堀井事務局長と話したり、打合せたりで総会の進め方などを聞くと同じに、札幌としての対応を検討して、札幌腎友会の

幹事会で相談、その結果を各施設の幹事さんが、各施設に持ちかえって相談をして、札幌腎友会に報告するといった、くり返しなのである。しかし、最終的に私が思うには、いつも患者会である為か、全ての施設の幹事さんが幹事会に出席してくれる事はまずない。良くて60%〜70%である。道腎協の実行委員会でも地方ブロックの人が言っていたことを思い出す。

我々の手で総会を成功させたと云う満足感がほしいのである。地元、札幌としては一人でも多くの人達が、第22回全腎協の総会に参加してほしいと願っているのは私だけではないと思います。札幌腎友会の鈴木会長を始め、道腎協の岩崎会長、堀井事務局長、道腎協の事務局員の方々が一生懸命努力

して連絡を取ったり、アンケートを取り行ったりで大変なのですが、普段の不満や不服を顔や口に出さず、もくもくとガンバっているのに感服します。先日も札幌腎友会の幹事さんの新年会を市内の味所で開いた時も、岩崎会長、堀井事務局長、鈴木会長も新年のあいさつの中でも触れていたが、是非、札幌で行われる第22回全腎協の総会を成功させようと頭の中はいっぱいなのだろう。私を含めて多くの会員の皆さん一丸となって協力

釧路ブロック

「新年会で乾杯」

全道各地の皆様、平成4年をすばらしい気持ちでお迎えのことと存じます。私達釧路地方腎友会でも1月26日(日)の日に新年会を開催致しましたので、その時の様子についてお知らせしましょう。

この日は午前11時から開会でした。

竹内昇会長の挨拶に続き、来賓の伊藤武一道議会議員さんが挨拶

して総会を成功させようではありませんか。多分、これからも実行委員の方を始め、各ブロックの代表の方や、各施設の代表の方にも協力を要請する事もたくさんあると思います。喜んで参加してほしいと思います。

季節柄、会員の皆さんにおかれましても、日頃の健康に十分に気を付けられまして、5月の全腎協の総会に参加して下さい事を心からお願いしてペンを置きます。

(報告・棧 勇)

されました。そして、釧路泌尿器科クリニック院長久島貞一先生が会員を励ましてくれました。

そして、佐藤信洋副会長の乾杯で宴会が始まりました。

出て来た料理を見て参加者は皆ビックリ。なんと、トラバガニの大もりがあるではありませんか。

その他、食べやすい生ハムや寿司など、ほんとうにおいしいもの



いました。久島先生もカラオケで石原裕次郎と聞きまらがるほどの美声で歌ってくれました。

帰りには、釧路和商市場で店を出している田村和幸さんがエビとニシンをおみやげとして参加者にくばってくれました。

こうして、新年会は無事終了することができました。

北見ブロック

「新年会を開きました」

北見地方は、昨年の末から例年にならぬ降雪にみまわれ、「雪の量は少ないけれど、しばれの厳しい北見」の通説がすっかり雪の下に埋まってしまったような、この冬です。

さて、1月19日に北見腎友会の新年会が催されましたが、前日の午前中に止んだはずの雪が、いつ降り出したのか朝には足が埋まる程の量。今日の新年会は、果たしてどのくらい参加人数になるかと心配しながら会場に行きました。定刻の11時近くになる頃、頭と肩

元気でいれば、またこんな楽しい会に参加できます。日頃から自分に厳しくしてがんばりましょう。

最後に、道東6地区交流のために尽力された十勝地方腎友会会長木村幸雄様が1月末に亡くなられました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(報告・橋本)

を雪で白くしながら、皆さんが集まってこられました。しかし、雪の為に出席できない人が4名程おり、残念に思いましたが仕方ありません。

定刻を3分過ぎた頃から、御家族を含め20名程の方々がテーブルを囲みました。

土屋会長の挨拶で始まり、今年札幌で開催される「全腎協総会北海道大会」の報告が、下田副会長より話され、松井さんの乾杯の音頭がとられる頃、丁度テーブルの上の鍋がいい具合になり、宴会に

入りました。

「今日は朝食抜きで来た」とか「昨日から量を控えめにしていた」等々、美味しいものをなるべく気にせず十分食しようと思えば、皆さんそれぞれ忍耐の時間を過ごしてきたようで、箸がどんどん進みます。テーブルには他に酔の物、寿司が並んでいます。

鍋の具が無くなった頃、ご飯を入れて雑炊です。美味しいだしがご飯に含まれて、とても美味しいのですが、水分量が増えるので箸の進むままにはいかないのが悲



しいです。

外の雪は、止みそうにありませんが、部屋の中は鍋が煮え、話し声があちらこちらで聞こえ、暖かさがいっぱいです。

そして、景品の当たるゲーム。まずはビンゴゲームから。なかなか数が出ません。皆に景品が当たるとしても、なるべく早目に「ビンゴ」と叫んでみたいもの。7、8分程経過した頃から、1人2人とビンゴの声がかかります。最後の1人が完成するまで、何分かつたでしょうか。その後、福引きです。

オホーツクブロック

「新年会」

1月18日19日の、1泊2日にて「川湯グランドホテル」に於いて新年会を実施致しました。参加者は、13名でした。最初は16名の子定でしたが、都合が悪くなり、出席できない方がでてしまい、とても残念でした。「車」を乗り合わせで車中色々な話しをしながら、楽

この新年会の福引きは、お米券や商品券でしたが、私達たとえ透析を受ける身ではあっても、すてきな福が引けるような1年を送りたいものです。

外の雪も小降りになった頃、約3時間程の新年会も御開きとなり、それぞれの家路へと向かいました。全道各地の会員の皆様、今年も心明るく透析の人生を頑張りました。

オホーツクの流水の風が、もう時期吹き渡ってくる北見から、新年会の報告でした。

(報告：佐藤)

しく川湯に行きました。

ホテルに着くと、とにかくお茶を飲んで、ひと休みしました。

6時から会食でした。「海の幸」、山の幸」を十分に味わった後は、ビンゴゲーム、ジャンケン、文字当てゲーム等々、沢山の景品を頂き、皆さんとても楽しんでいらっしゃ

いました。8時頃終了しました。

その後、二次会へ行く事になりました。体重増加をかなり気にしながら、「どうしよう、やっぱり行くか?」と言って、「スナック」迄、7名が元気に歩いて行きました。

雪が降って行きましたので、思ったより寒くなくホッとしました。お店に入ると「ウイスキー」「ジュース」と、皆好きな飲み物を飲みながら「カラオケ」に夢中になっていました。「おでん」を皆んなで分け合って食べましたが、とても美味しかったです。11時頃、ホテルに戻り、温泉に入り、ゆつくりと暖まりました。その後、一つの部屋に集まり、「氷」を食べる人、「ウーロン茶」「水割り」を飲みながら、勉強会?の様な、各個人の思っている事、透析の事等々、皆んなで色々な話しをしていると時間の立つのも忘れてしまい、気が付くと、もう1時になってしまいました。

今日は、これで解散しましょうと言って、各部屋に戻り、眠りに就きました。

朝8時に朝食でした。皆さん、とても元気にしっかりと食事を頂きました。ロビーで「コーヒー」

を飲み、9時30分頃より出発しました。峠は吹雪の為に大きな「トラック」が何台も止まっています。一人々を各「家」迄送り届けて我家へ着くと、昼頃になっていました。皆さんがとても元気で楽しく過ごされて居りましたので、とても安心致しました。今年も、色々な行事を計画し沢山の方に参加して頂きたいと思つて居ります。話しは変わりますが、「網走厚生総合病院人工透析室」が増設されました。ベッド数は20床です。とても広く、最新機械の導入により、患者さんは安心して透析を受けて居ります。

昨年、12月20日よりスタートしました。今迄遠くの病院で、透析を受けて居られた患者さんが次々と網走に戻って来られました。本当に良かったと思います。

全国の皆さん、道東方面に観光等で行かれた時には、網走厚生病院透析室にお寄り下さいませ。心よりお待ちしております。

(報告：佐々木保子)

「つくし会92年度

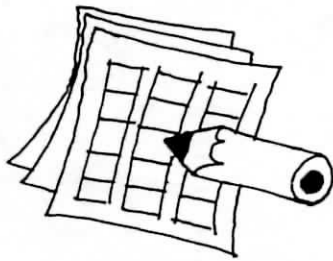
総会兼新年会」について

1月26日(日)午前9時半より割烹
於久仁に於いて開催され、総会に
は道腎協会会長岩崎さんと、市会議
員の吉田氏が来賓として出席して
下さり御挨拶を戴きました。

総会は例年に比べ出席者が多く
会員39名で新会員も結構出席して
くれ新しい意見も出され、活発な
検討が行われましたが、事業案、
決算、予算共に承認されました。
又役員選考では村田会長はじめ片
岡副会長、松浦会計、仲野会計監
査が留任となり、新たに森竹副会
長、伊藤事務局長、梅村事務局長、
婦山会計監査が新しく選ばれまし
た。前廣岡事務局長は相談役と言
う事になりました。

総会終了後、新年会に移り6つ
のテーブルに分かれ、この日ばか
りは普段の節制をはなれ、ビール、
ジュース、料理に舌づつみを打ち

喉を鳴らしながら、日頃の生活の
事、全国総会出席の話、旅行の話
など花が咲いていた様ですが、2
時過ぎに流れ解散となりました。
総会、新年会に出席した方々は
楽しい一日を過ごされたと思いま
すが、来年の総会に又元気で参加
される様、身体に気をつけて頑張っ
てもらいたいと心から思っていま
す。
(報告：廣岡)



「腎友会文庫」

市立小樽第二病院

皆さんは、4時間から5時間の
透析時間をどのようにお過ごしで
しょうか？

雑誌や小説を読んでいる方、ラ
ジオを聞いている方、テレビを見
ている方、隣の人とお話をしてい

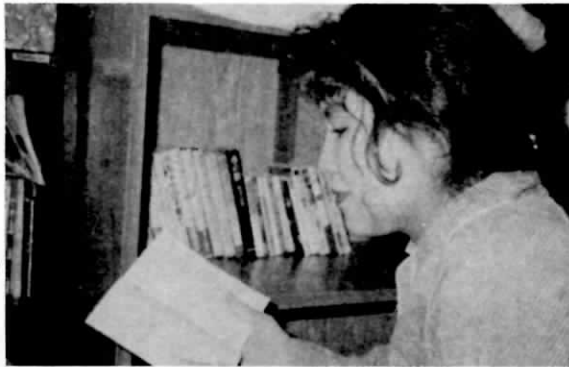
る方、中には眠ってしまった時間
が短すぎるなんて思う方もいるの
ではないでしょうか。

それぞれに、色々な方法で透析
時間を過ごしていることと思いま
す。

私たち市立小樽第二病院の患者
会では、長い透析時間をより有意
義に過ごしていただきたいと「腎
友会文庫」を設置いたしました。

「腎友会文庫」は、患者さん達
の読み終えた本や、みんなに読ん
でもらいたい本などを持ち寄って、
談話室に設置した書棚に置き、自
由に読んでもらおうというもので
す。

本を借りたい人は、貸し出しノー
トに借りた日、氏名、書名を記入
し、読み終えたら返却日を記入し
て戻すようになっていきます。
今までは透析に関する本だけで



はなく、小説、エッセイなど50冊以上もの本が集まり「ミニ図書館」らしくなってきました。

また、利用する患者さんも多数になり、たいへん好評を得ています。

ちなみに、「腎友会文庫」の中の私の推薦の一冊は吉永小百合著「夢一途」。小百合さんの今までの人生を、女優としてはなくひとりの

人間として語っているステキなエッセイです。(写真もたくさん載っています。)透析で血液が洗われ、この本で心が洗われた(?)のではないのでしょうか。

これから先生ももっと本を増やし、長い透析時間に少しでも役に立つ「腎友会文庫」を大切にしてゆきたいと言われております。

(報告・菅井)

十勝ブロック

新年会

去る1月25日(土)・26日(日)の2日間にわたり、十勝川温泉の観月苑において十勝地方腎友会の新年会が行われました。透析患者・家族合わせて計30名が参加し、楽しいひとときを過ごしました。

午後6時より、幹事の藤田さんの司会進行で新年会が始まり、まず顧問の新倉さんが開会の挨拶をし、会長の挨拶は、体調が悪くて参加できない木村会長の代わりに、菊地副会長が代行しました。そして、高梨副会長の乾杯の音頭によ

り、全員で乾杯し会食となりました。そうしているうちに帯広西病院の野田看護婦さんが、お手伝いに来て下さいましてゲームが始まりました。まずは、恒例のビンゴゲームで全員が盛り上がった後、野田さんが考えてきてくれた伝言ゲーム・しりとり歌合戦を行い、本当に愉快な時間を過ごしました。あまりにもゲームで盛り上がったため時間がなくなり予定のカラオケが出来ない始末、本当に野田さんには感謝しています。



最後に、今回初めて参加の透析患者を代表して本別町立病院の大

川さんの音頭により全員で万歳三唱し閉会となりました。

今回の新年会は、木村会長が不参加、また佐藤事務局長も私用のため出席できないという状況のなかで行われましたが、顧問の新倉さんをはじめ、その他の役員の皆様方の協力により無事に終わる事ができました。新年会が無事終わった事を木村会長へ報告しに行ったところ、折しも会長が息をひきとられた後でした。まさかの会長の死に動揺を隠せぬまま、今はただ今回の新年会を企画準備して下さった会長に対して、ご冥福を祈ると共に会長への感謝の気持ちでいっぱいです。(報告・岡崎由紀夫)

「第153回運営委員会報告」

北海道ブロック代表 廣岡達夫

去る1月18、19日両日、中野サンプラザに於いて今年初めての運営委員会が行われ、会長以下16名が出席しました。

最初に会長挨拶があり、各報告

事項の報告の後、討議事項に入り、(一)脳死臨調最終答申に対応し、全腎協の評価を協議しコメントを出すことに決定、骨子はいずれ機関誌に発表されるものと思われま

(二)要介護者問題対策委員会報告書に対応しては、報告書の具体化について、①来年度活動方針の中で具体的対応を考える。②報告の実践に努力する(地域腎協に於いて実体をつかみ地域による対策を立てる)。③医療廃棄物処理問題については、全体としては業者委託が多いが、費用の格差が多いが費用の保障は診療報酬の中に設定されていないので、これが患者の不利益とならない様、全腎協としての対応を検討する。④全腎協の公益法人化について、法人化検討委員会の検討の経過報告を受け、設立趣意書案、定款骨子を協議し、今後の日程も協議した。設立趣意書を取りあえず相談のかたちで厚生省に出し、検討委は続けて定款案骨子の細部をまとめる。その骨子案をもとに三月の幹事会で法人化取得について協議し、それが総会で承認された後、正式に厚生省へ許可申請を出すなどの段取りを確認した。(四)総会提出議案の骨子について、①91年度活動報告、②92年度活動方針案、92年度予算案骨子について協議し次回運営委員会までに成文し、幹事会提出するこ

とが決まった。(六)その他として、①医療法改正案に対し反対の立場をとり要望書の検討、②国立医療機関週休2日制実施に関して透析治療に影響がないか国立医療機関の実施を調べ、その結果によっては各方面に申し入れを行う。③旅費規定の一部改正について、急行、寝台料金の支給基準から、患者の

広報員通信

生かさるる身



嘉見照子(滝川)

とが決まった。(六)その他として、体調、高齢化時代を考え距離制限を削除。④有料道路料金の割引制度の運動を各地方腎協も都道府県議会に提出する事。⑤各県機関誌コンクールを行う様、一部県組織より提案があり、2日の編集会議で検討する。以上の事が承認された。

松村満美子著の「腎不全を生きとて」と言う本にめぐり合い、感慨深く読ませていただきました。今日に到る迄の医療技術の開発

と発達、そして、医療福祉制度の向上と充実のためどれ程多くの人々が力を尽し情熱を傾け、苦勞を重ねて来た事か。また初期透析者の経てきた言葉にはつくせない苦しみなど、ひしひしと胸に迫りました。私の透析も6年目に入りその間さしたるトラブルもなく、クリニックの先生を始めスタッフの方々に励まされ、支えられて、今はむしろ楽しい日々を過ごしております

が、私も透析導入の当初には精神的に非常に落ち込んで、何をやる気力もなく、どうしたらうまく死ぬ事が出来るか知らないなどと、とんでもない不遜なことも考える時期がありました。新聞もあまり読まず、テレビも視ず、きつと毎日暗い顔をしていた事と思います。そんな時友達から私の夫の事を聞いたのです。夫は友達に「家内が此の頃新聞を読むようになった。今日少し気分が良いようだ」と嬉しそうに話していたと言うのです。私はハッと目が覚める思いでした。慙愧の思いにかられました。私の心掛け次第で周りの人を明るくも暗くもするので、この私にも為すべき事、出来る事がまだまだあったのだと思いついたのです。それ以来急に世の中が開けたような気が持ちになりました。感謝の心で物事に接するようになりました。腎友会クリニックの行事にも積極的に参加するようになりました。去年の暑寒別岳登山には、私は高齢でもあり皆さんにご迷惑をかけてはいけないと参加しませんでした。が、皆さんの元気で楽しかったと言うお話を聞くにつけ、今年こ

それは私も思っております。

10月には旭川へ日帰りの研修旅行に参加しました。途中果樹園がつづいていて、矮生の木に真赤な林檎が鈴なりに光っていて思わず歓声をあげました。雪の美術館を見学し、美しい氷の造形に感動し、回廊のアートギャラリーの絵に、音楽堂の素晴らしさに、只々目を瞠るばかりでした。そしてニュー温泉で楽しい昼食をとり、温泉に入り、スタッフや療友の経験談や助言を聞き、貴重な勉強をさせていただきました。

私は広報員になってまだ日も浅く、これといった仕事もしていませんが、この後皆様のご指導により少しでも前進して参りたいと思っております。

透析に入りそれ迄続いていた短歌もすっかりやめていましたが、また気を取り直し、平成元年6月より、また作歌活動を始め、それ以後一度も欠詠することなく、機関誌「原始林」に依って勉強させて頂いております。一昨年昨年と全道大会にも出席し、充実した日々を送っています。今年目標は40年に亘る歌稿を整理し、夫と私の

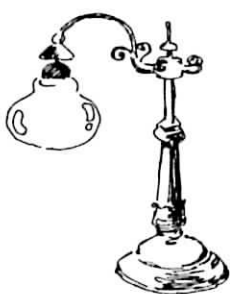
合同歌集を作る事ですが、実現するかどうか……拙ない私の短歌を記してこの稿をとじます。

短歌 折々に

(旧かなに依る)

アカシヤの花の散り敷く朝の路
われと励まし透析に出づ
我になほ為すことあれば透析の
日々も耐へゆくむしろ張り持ち
て

暖かき日向に薯の芽欠きてゐる
かかる穏しき日のながくあれ
在るがままに生きんと思ふ穂の
出でし麦生を渡る風に吹かれて
透析に生かさるる身をつつし
暮す日にち安けくもある
透析を受けゐる窓より除雪車の
指呼する聞こゆ雪しまく申
寝ねがてに残る生など計りある
夜更け屋根より雪のしづるる



はっけよいのこった

片桐 俊子 (札幌)



世はまさに大相撲ブームでわいている。以前は年配のファンが多かったが、今やギャル達がアイドルのおっかけをするように、カメラ片手に人気力士にむらがついている。気持ちには分からなくても、成長を静かに見守る気持ちもほしい気がする。

私は大相撲が大好きである。ブームが来るずっと前からテレビ機數での観戦を欠かさない。父が生きていた頃、一緒に応援したものだった。大相撲は、数少ない父と私の接点の一つだった。父は、若嶋津と大乃国が好きで、二人とも引退してしまっただけで、あの世で時の流れに一抹の淋しさを感じて

いるかもしれない。しかし、貴ノ花ファンでもあったから、若花田・貴花田の活躍に目を細め、さらなる声援をおくっているかもしれない。相撲界は戦国時代をむかえている。誰が天下をとってもおかしくないくらいに、若い力がひしめきあっている。ハワイパワーの炸裂、藤島軍団の激進、小兵力士と大型力士のぶつかり合い、綱とり大関とりはどうなるのか、見どころがたくさんあって、大相撲から目が離せない。

昨年、宮沢りえの写真集が話題をよんだ。いやらしさを感じさせない、とても美しいヌードだと思える。男性ヌードでは、モツ君こと本木雅弘が注目を集めたようだ。こちらはまだ見ていないので、なんとも言えないが……。おもしろいのは、りえちゃんもモツ君も相撲にかかわりが深いことである。りえちゃんは、ふんどし姿のカレンダーで世間をあつと言わせ、モツ

君は『しこふんじやった』という映画で主演している。どうせモードを見るなら、正々堂々と見られて、博多人形のようにかわいい力士の、まわしモードが最高だと私は思う。

土俵の上で、力いっぱい闘う力士の姿に感動をおぼえ、握りこぶしに力がこもる。持って生まれた体格や才能はもちろんあるが、すべては稽古にささえられている。十分稽古をつんでいると、自然に体が動き、窮地の中でも勝気をみ

いだすことができる。私達も人生土俵の上で、腎不全という力士と闘っている。相手は強い。まわしをとって、一気に寄り切ろうとする。でも、稽古で鍛えた足腰は強じん、土俵ぎわでねばり、相手にうっちゃりをかける。勝負は最後まで捨ててはいけない。土壇場で何が起こるかわからない。何か起こしてやろうと、あきらめず、あせらず、私は今日も土俵の上で「はつけよい のこった」と稽古に精をだす。

透析12年間の記録

市立小樽第二病院 西内則子



平成4年を迎えて私の透析生活も13年目に入りました。いつの間にか干支がひとまわりしていた事

を思うと、月日の流れるはやさをあらためて感じさせられます。今、この12年間の記録(140枚の自己管理表、食事摂取量の計算ノート、検査値表、月平均、年平均値表など)をひろげて見えています。自己管理にあけくれた日々が思い出されます。

病気にはほとんど縁のなかった私でしたが、昭和55年1月、急に

	第1期 (昭和55年~58年)	第2期 (昭和59年~63年)	第3期 (平成1年~3年)	
透 析 時 間	4時間・週3回	4時間・週2回	4時間・週3回	
ド ラ イ ウ ェ イ ト	50kg	49.5kg	48.5kg	
体重増加量と増加率(平均)	(2.3%) 1.13kg	(1.8%) 0.9kg	(2.5%) 1.2kg	
尿 量 の 変 化 (cc)	400~500~800(cc)	980~1,100~1,200~760	550~390~350	
検 査 値 (平均)	尿 素 窒 素 (mg/dl)	80.2	76.1	85.2
	ク レ ア チ ニ ン (mg/dl)	10.2	9.1	11.9
	カ リ ウ ム (mEq/l)	4.4	4.3	4.8
	カ ル シ ウ ム (mg/dl)	5.4	5.9	5.3
	リ ン (mg/dl)	4.4	5.6	7.1
	中 性 脂 肪 (mg/dl)	213.3	212.3	233.5
	総コレステロール (mg/dl)	245.3	195.0	240.3
ヘマトクリット (%)	31.3%	25.5%	26.8%	
最高血圧	128	145	132	
最低血圧	70	80	76	
食 事 計 算 値 (平均)	エ ネ ル ジ ー (Kcal)	1,600~1,800	1,500~1,600	1,450~1,550
	蛋 白 質 (g)	60	50	45~50
	脂 質 (g)		30~40	30~40
	糖 質 (g)		256.6	247.8
	カ ル シ ウ ム (mg)		483.3	565.0
	リ ン (mg)		593.4	553.3
	鉄 分 (mg)		7.5	7.3
	カ リ ウ ム (mg)		1,609.2	1,359.5
	コ レ ス テ ロ ー ル (mg)		300以下	300以下
	塩 分 (g)	4.2	3.8	4.3
水 分 (g)	1,400~1,500	2,000	1,300~1,500	

からだの変調を覚え診察を受けた
時が透析人生のスタート台になり
ました。人工透析の事を何も判か
らぬまま4時間、週3回外シャ
ントからの透析がはじまり、そし
て内シャントになり、3ヵ月半余り
入院の後通院透析になり、自己管
理の第一歩は食事の摂取量（エネ
ルギー、蛋白質、塩分、水分、昭和59
年よりカリウム、リン、カルシウム、
鉄、コレステロール、脂質、糖質の11
項目）の計算からはじまりました。
指導して下さる方もいまま、
透析食についての書籍と食品成分
表、そして計算機をいつも手許に
数字を追っていた12年間でした。
今までの記録をもとにして、透析
12年間で大きく3つに分け、次表
のようにまとめてみました。

第1期

退院後の指示摂取量は
エネルギー2、000

kcal、蛋白質75g、塩分7g、

食事以外の水分500ccでし

たが、実際やってみるとエネ

ルギーと蛋白質は指示量を満

たす事は中々出来ませんでした

た。蛋白質については日本人

の所要量が成人で1人1日当

たり、男70g、女60gでした

ので60gを目安としました。

塩分については計算できない

塩分（調味、加工していない

食品に含まれている）を考え

5g以下とし、水分について

は、年々尿量が増加していた

ので1、200cc、1、60

0cc飲用（食事の水分を含む）

しましたが、体重増加率はド

ライウエイトの2・3%に保

つ事が出来ました。

尿量が更に増えて1、

000cc位になり、透

析時間が4時間、週2回と減

りました。摂取量の計算はカ

リウム、リンなどを増し11項

目となりました。蛋白質と塩

分については透析の間隔（月、

金透析）が第1期より広がっ

たので蛋白質は50g、塩分4

g以下を目安にしました。水

分については食事を使う水分

を合わせて2、000cc位摂取

しましたが、体重増加量は1kg

未満でした。第2期の5年間は

検査値も落ちつき安定してい

た時期と言えらると思います。

尿量の減少と共にクレ

アチニン値が上昇（11）

13）しましたので透析時間を4時
間、週3回にしていたきました。

第3期の検査値で気懸りなのはリ

ンと中性脂肪の上昇でした。これ

までアルミゲル1日2錠、リン抵

取量600mgでしたがアルミニウ

ム症が気になるのでアルミゲルの

量をふやさずに、炭酸カルシウム

にかえていただきました。平成3

年7月より1日3回服用し、リン

の摂取量も550mg以下を目安に

食事をしました。7月、12月のリ

ン値は平均6・2、カルシウム値

は平均6となつています。中性脂

肪は糖質の摂取量を250g以下

にしていますが、あまり変化はあ

りません。その他は、カリウム1、

300mg、水分1、500cc以下
に摂取量を減らしました。検査値
はカリウム5以下、体重増加率2・
5%となつています。

以上がそれぞれの時期の大まか
な特徴ですが、この12年間の記録
を通して見ますと、私の場合は、
尿量の増減が透析時間、食事摂取
量、体重増加量、検査値に深くか
かわっている事が判ります。腎臓
の働きがほんの少しでもある事は
自己管理にとつても大切な事
だと考えさせられました。これか
ら、今までの記録をもとに少し
でも良い透析生活を過ごす事が出
来る様に自己管理を続けて行き
たいと思つています。

一般投稿

背の高い人

須合清道（札幌）

昔からそうでした。背の低いの

に非常に劣等感をもっていました。

小学生の頃、背の高い男に喧嘩を

売られて取っ組み合いになって、

いつも投げられていました。

戦後でもない頃、高校3年生に



なり荒廃した社会にでて行くのに、この劣等感を克服すべく、テレビもない、ラジオもあまりない時代に話に聞いた格闘術の沖繩空手を大学に行けばクラブでやっている、と聞いて進学を決心しました。空手を習いに進学したのですから学校のクラブでは松濤館の首席師範中山先生に習い、町道場では、糸東流を沖繩出身の遠山先生に教えていただきました。

各大学の対抗の空手の試合にも数多く出場して実力を身につけ、卒業の時には、3段になりました。この頃になると、背の低い事なんか、すっかりわすれていました。大男を一撃で倒す自信は十分ありました。

その後も修業をつんで最終的には、5段になりました。私の青春は、空手そのものでした。でも青春ですから恋もしましたが、いつ

も背の高い女性が対象でした。時には例外もありました。昭和30年、デモ、シカ、先生と言われた時代に教員になりました。

年頃になり結婚話がありました。一番の条件は背の高い人でした。自分の子供に、背の低い劣等感を味わせたくなかったからです。歌の文句ではないけれど、「妻を娶らば、才たけて、みめ麗しく情けあり」これは理想ですが、とにかく背の高い子供を生んでくれる人をさがしました。さがして、さがし疲れて頭の髪の毛もたそがれ始めた29歳の時、今の家内と見合して一目散に結婚しました。家内23歳の時でした。

子供も二人恵まれましたが、女の子ばかりでした。でも、素直な氣立のやさしい女性に育ちました。娘達は、年頃になり長女は背高けが160センチに、次女は162センチに成長しました。男の子がいなくて残念でしたけれども、背の低い事の劣等感はなく育ちました。

長女は、ミスさつぽろに選ばれて、札幌市の公式行事に参加、美の親善使節として、国外、国内、

各地を訪問して帰宅したある日、ぼつりと、ひとり言を言いました。「私、あと5センチ背がほしかったなあ」と、私はこれを聞いて心の中で叫びました。

「冗談じゃないよ。お父さんは、どれほど努力した事か。」

私は健鞘炎の手術のため整形外科で、身長を始めて計ってもらいました。身長154センチ、こんなに背が低いとは今日まで知りませんでした。

心まで病気にしない

故 岩 井 祐 子 (小樽)

忘れてもせぬ59年10月9日、ようやくのおもいで東札幌にあるS病院に着きました。そこは20数年前、札幌大で副甲状線機能亢進症の診断を受け、当時医大では初めての手術をし、その時大変お世話になった主治医の先生が開業。院長先生をしている病院だったのです。

さっそく診察そのまま安静を宣告され、即入院、透析導入です。何がなんだか分からないうちに透析、何んでもいいから苦しい状態が楽になりたい、そんな気持ちでしたから、透析と言われてもショックも何もありませんでした。

ただ、翌春小学校に入学を控え

透析直後より道腎協に入会はしていましたが、ほとんど活動はなく今回、同病院で熱心に会の仕事をしてくれる人がいて、その方のお世話で、少人数ながら北生病院に患者会が結成されました。

同病相憐れむのはいや、などと言わず積極的に仲間になる同じ病の人しかわかり合えない辛さや、痛みを仲間同士でおもいつきり出

し合うと、気分が軽くなるわけではありません。つらいものはつらい、そのつらさを本当に分かりあえる相手、本音で痛さつらさを出しあう。そして、でも、がんばろうね、がんばって生きているうちに、いいこと一つでも多く見つけようね。」と完全に治るのはあきらめても、今より少し楽になることはあきらめません。体は病気になるっても、心まで病気にしない。それが病と長くつきあうポイントです。とありました。

腎友会活動に参加して

高橋 栄子（小樽）

私のお世話になっている透析病院は患者数20名程のこじんまりした、とてもごやかな病院です。開院してまだ日も浅いので患者間のまとまりが、まだしっかりできておりません。

私個人は、先生のお世話になったのは、前の病院に先生がお勤めの頃からですから、今年で16年を迎えるところです。そんなわけで

この様に一人でも多くの仲間をつのりたいと思ひ平成3年11月10日少人数同志、望洋台の桜台クリニックの方々と会合をもち、食事と少々のお茶で今後の活動と親睦をはかりました。

今年の行事予定は、2月に幹事会をもち、年間の予定を話し合います。3月に簡単な総会を開き、決定し、実行する事になっていきます。みんなで楽しく、励ましあつて全国大会も成功させようと思つています。（2月逝去されました）

いと思つております。

今年度はたいした活動もできませんでしたが、北生病院の斉藤さんと話しあつて北生病院と私達の桜台と合同でお食事をしながら、思つていること、また困っている事など、きたんないお話し合いをしてみましたところ、皆さんに喜ばれて、またこのような機会をもつてくれるようにとの事でした。

私の病院には、透析と目の不自由な二重の苦しみをもつた方もお

ります。本当にお気のどくなことだと思ひます。でもこのような機会には私でも役立つことだと考え、迎えに行つて手を引いて参加させております。本人はとても喜んでおります。これからも、私達が元気でいるうちは、少しでも患者さん達に喜ばれるような活動をして、ブロック活動をよりよいものになければならないと痛感致しております。

私の半生記 最終回

佐藤 道美（室蘭）



高校へ行かせて貰えるなんて思つても見ませんでした。

当時の高校へ行ける子は現在とは大きく違い級でもほんの数人しかいませんでした。

その他の子達は皆んな働くのがごく普通のことだったので。

新制中学を卒業してすぐ就職するのを金の卵として、もてはやされたのはずっと後のことです。

今になって思えば本当に子供だっ

今度の転校は今までとは違い教育新制度の6、3、3、4の新制高校受験の為です。

こんな生活環境にありながら、

た、高校へ行けるそれだけで有頂天になり周りの人の生活状態など考えもしなかったようです。

小学校で3回、中学校で3回目
の転校になります。

昭和24年3月に東室蘭駅に着きました。駅から中島町の社宅街(現新日鉄)までは人家はほんの2、3軒しかありません。道路を挟んで左右は湿地帯で葦が所々に生えており、あちらこちらに艦砲射撃の跡も生々しく大きな穴がおり、そこには黒っぽい水が不気味に溜まっています。

社宅街の入口に有る4、5軒の店(開市?)は人が多く活気に溢れていたようです。

小高い所にある竹の台の社宅に向かう途中「やあ道美よく来たな今度はずっといるのか」と小学校の同級生が覚えていてくれ、声を掛けられた時はうれしかった。

教育新制度と言っても戦後の事制度は出来ても校舎が追いつかず、知利別小学校への間借り生活です。小学校低学年は2部授業で凌いでいました。

何月頃だったでしょうか、待望の新校舎が出来ました。全員が机

と椅子を持って引越しました。2年が2級、3年が4級で現在の蘭東中学校がスタートしました。

担任は見習い士官上がりの元氣な先生で、すぐ姿勢が良くこれも剣道をやっていたお陰だとも話していました。

柔道は相手を引きつける為にも前かがみになるから姿勢がだんだん悪くなる、歩いていても柔道をやっているとすぐ判るくらいに姿勢が悪い、やっぱりやるなら剣道が一番と教わっていたが、何故か私は新制中学を卒業してすぐに柔道道場の門を叩いていました。

先生には何回かビンタやゲンコツを貰いました。体罰ウンヌンのご時世ですが悪いのは悪いのです。しまったと思った時に一発ゴツンとやってもらった方がかえってさっぱりしたのを懐かしく思い出しています。

まだ独身だった先生は引揚者用のアパートの一室に一人で住んでいました。

そのアパートの近所に住んでいる連中に夜になると勉強を教えてくださいました。

今の塾とは全然違い、算教をする時もあれば、帰りまで雑談でさようならという時もありました。

冬の寒い日でした、今日は甘酒を御馳走するぞと言って鍋に作ってくれました。

はつきりしませんが多分12月14日のことだったのでしよう。きつとこの日も雑談が主題だったと思います。

中学3年の男の子ばかりです。口から余るものはありません。

湯呑み茶碗はあつという間に空になります。

そのうちに先生の顔が真っ赤になりました。湯呑み茶碗でほんの2、3杯です。ああ眠くなつたと横になってしまいました。押入れから毛布か何かを引っ張り出して先生に着せて、では失礼しますと帰ってきたのですが、勿論甘酒の鍋には最後の一滴も残していません。

当時は甘酒もそうですが、甘い物も不足していました。甘い物だけでなく食料全体が不足していました。普通の家がそうでしたので余計な食べ盛りの男の子が3人もいる義兄の家では尚更です。社宅

の近辺の空き地という空き地は全部区画割にし畑にして芋や野菜を植えていました。義兄の家ではそこにトーチカのように明かり取りの為、土の中から窓だけを出した小屋を作り豚を二頭飼っていました。

豚は以外に綺麗好きでこまめに糞を変えて鉄のブラシで体をこすってやると、さも気持ちよさそうにブーとも言わずに体の力を抜いて銀色の綺麗な毛並みで小さい目を一層細くしていたものでした。

その他に山羊、鶏、兎等も飼っていました。

「豚が逃げているよ」と近所の人が教えに来てくれました。

飼育掛かりの私は吃驚して山へ飛ぶようにして行って見ます。

きつと餌をやった時に入口の戸の閉め方がまずかったのでしょうか、密閉された小屋から開放されて嬉しかったのでしょうか、20貫以上はあるのかという巨体を斜めにして飛び跳ねているのです。

それも近所の人達が丹精込めた畠からやっとう青い芽が2、3センチ伸び出した所を蹴散らしているのです。犬だったら口笛を吹いた

り名前を呼んだら側に来る事になっていますが、豚にはまだ名前もつけていませんし、こっちへ来いといっても正に豚耳東風、追い掛けるとかえって嬉しそうに飛び跳ねるだけ、近所の友人達にも手伝わってもらい、やっと後ろ足に縄をかけることができました。久方ぶりの運動で本当に満足そうな顔をしていました。こっちはこん畜生てなもんです。

山羊からは毎朝山羊乳を搾ります。子供だと馬鹿にしているのか暴れるのですが大人だと静かにしているのは不思議でした。

雨の日以外は山羊乳を搾った後、山へ連れて行きます。

長い鎖のついた杭を草が沢山生えている所に持ち込みます。

学校から帰ってまた連れに行く鎖を半径にして、そこだけが綺麗に草が無くなっています。

天気の良い日などは悠々と寝そべりメーとも言わずに反芻に余念がありません。

鶏もずいぶん飼っていました、ヒヨコも沢山孵しました。

そうこうしている内に、トンスラこいて人を騒がせたあの豚が売

られることになりました。

あの騒動の時よりも一回りも二回りも大きくなっていました。

30数貫も体重があったそうです。飼育担当者である私の心境は複雑でしたが、褒美に当時としては贅沢品だったギターを古賀政男の楽譜と共に買ってもらい、本当にいいのだろうかと吃驚したのを昨日の事のように覚えていきます。

一年なんてあっという間に過ぎて行きます。

受験勉強も押し迫った、ある日曜日その日は何故か今でも思い出せます。天気がよく沢山降り積もった雪に太陽が眩しく反射していました。

悪ガキが5く6人お早うございますと、先生のアパートへ押し掛けました。先生はいつもと違う顔をしていました。顔中についている剃刀の傷のせいだけではないようです。「今日はお前達帰りなさい」と言うのです。

どうしてですか、と問い返すと難しそうな顔で「女の人に来るかからお前達の相手は出来ない」納得それで顔中傷だらけに悪ガキは顔を見合せましたが、笑うなんてそ

んな失礼な事はしませんでした。

あつ来てしまったと先生、では先生と悪ガキ達はざざーと帰って来ました。奥さんになった方でした。

ある日の先生「道美一寸来い」あれ何かやったかな、変だな、あれはばれる筈がないし、と思いがらビクビクと先生の前へ、受験が迫っているけど、今度勉強を教えてくれてお金をくれ、卒業したらその会社へ入れるという学校が出来る、お前にピツタリだがどうだ、ハイ受けて見ます。

これが私立輪西工業学校、ここで2年間に職工さんの基礎を勉強して会社の従業員になります。

私立なので高校の資格はありません、それで殆どの子は定時制で勉強しました。

学校でもらった最初の2千円は同じ級から入ったのと2人でアメ玉を沢山買い込み、先生のアパートへ普通高校へ行ったの、就職したの最早色々に分かれていました、競争してアメ玉を食べました。その連中とはいまだに級会をやっています。

残念ながら先生は亡くなってし

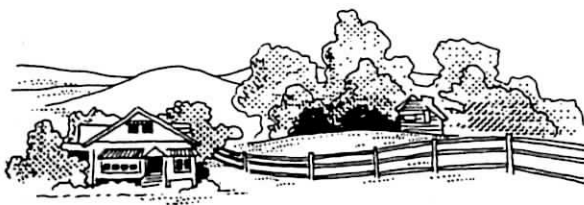
まいました。

これから会社で38年間を過ごすことになり、青春時代にも入る訳ですが、綴り方文章では面白くないと思います。

青い花も咲かせ、赤い実もつけさせ、冬にも強い根を張らせてと、面白そうだが難しそう。

青春時代は次回の機会に譲るとして、少年時代の一巻の終わりと致します。

読んでくれた皆様、どうもありがとうございました。



北海道難病連協力会員のお願い

ご家族お知あいの皆さまへご協力をお願いして下さい

1口2,000円(法人は1万円)で—— ※毎年12月にご請求申し上げます。

●安定した運営のため

北海道難病連と加盟団体の運営を安定させるためには、定期、定額の収入が必要で、

1万人の協力者がいると、2千万円の財源となります。

ご家族、知人、友人、協力会社の方々に、ご協力をお願いして下さい。

●各団体の資金にもなりません。

道難病連の所属部会名(加盟疾患団体)または地域支部名を、指定していただければ、会費の50%を、その会へ還元いたします。道難病連と共に、加盟団体、地域支部の活動資金も確保されます。

●送料は無料

郵便振替用紙をお送りします。郵便振替の手数料はかかりません。

年に一回、請求書と一緒に用紙をお届けしますので、ご利用下さい。

●お申込は……

道腎協事務局(TEL011-747-0217)へご連絡下さい。振替用紙をお送りします。

全腎協第22回総会

北海道大会のご案内

全腎協第22回総会を1992年5月24日(日)に北海道・札幌市教育文化会館で開催します。

総会前日・5月23日(土)の宿泊と交流会につきまして、は次の要領です。お申し込みは各ブロック単位でまとめて下さい。ブロック以外の方は直接道腎協事務局にお願いします。

■宿泊(5月23日)

・定山溪ホテル(札幌市内からバス約1時間)

札幌市南区定山溪温泉西4丁目340-1

TEL011-598-2111

朝食付1人12,000円(交流会費・総会会場

バス運賃含む)

■交流会のみ(5月23日)

・参加料 5,000円

●おくやみ

木村 幸雄さん

平成3年1月26日逝去されました。十勝地方腎友会会長であり、道腎協の運営委員を務められました。長い間の活動に敬意を表し、ご冥福をお祈り致します。

須藤 亮さん

平成3年2月3日逝去されました。前夕張腎臓病友の会長であり、前道腎協幹事を務められました。長い間の活動に敬意を表し、ご冥福をお祈り致します。

編集後記

懐しい人々の計報を知る度に人生の諸行無常を深く感じます。

やがて暖かい春が訪れ全腎協総会に備えて皆様、お元気で頑張ってください。

■全国総会まで2ヶ月です。(岩崎)

準備も急ピッチで進んでいます。一人一人の気持ちを集結し成功させましょう。

■めざましい透析医療技術の進歩や福祉の向上の反面、患者会への無関心層が広がっていることに危機感を覚える。全腎協総会を機にもう一度患者会の大切さを確認しあいたいものです。(村本)

■田中まゆみさん(新道展会員)

○画歴

1983年

新道展佳作賞

(北海道新聞社賞)

新道展会友推挙

自由美術展佳作作家

1984年

新道展会員推挙

自由美術展佳作作家

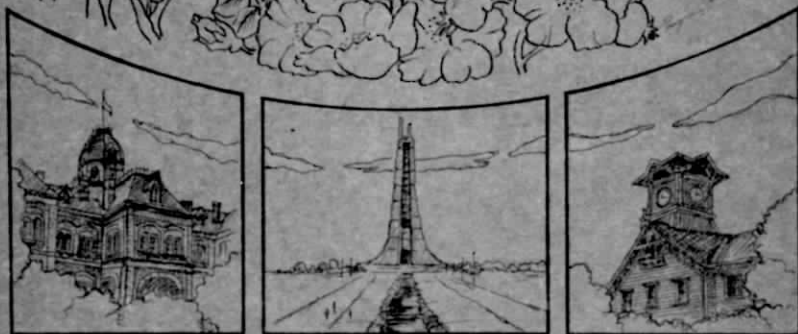
1985年

個展開催(大同ギャラリー)

○透析歴 9年2ヶ月

全腎協 第22回 総会

北海道で開催



日時 1992年5月24日日・午前9時30分開会

場所 札幌市教育文化会館(大ホール)
札幌市中央区北1条西13丁目

全国腎臓病患者連絡協議会
北海道腎臓病患者連絡協議会

※全腎協第22回総会のポスターが完成しました。札幌腎臓病患者友の会の田中まゆみさんのデザインと全面的なご協力で作成されました。



clinical foods

森永低リンミルクL・P・K

——使いやすい、飲みやすいミルク——

腎機能に障害のある方(特に透析患者の方)に適しています。

(低リン、低カリウム、良質な乳蛋白質、
カルシウム、鉄増強)



●お問い合わせは、森永乳業(株)札幌支社栄養食品販売課
TEL011-865-2821

※ご使用は専門医のご指導に従ってください。

低リンミルクL・P・Kを利用した献立

その5

低リンミルク入りカニ玉

..... 手軽に作れて、とっても美味しく
栄養満点です。

材料一人分 A

- カニ(缶又はむき身).....30g
- 卵.....50g(1個)
- 卵白.....25g(1個分)
- 低リンミルク.....10g(1/2本)
- 砂糖.....1g
- 塩 / 正油.....0.2/1
- 長ねぎ.....10g
- 竹の子.....10g
- 干しいたけ.....1g

B

- 焼くための油.....10g

C

- | | | |
|------------------|---|--------------------|
| あ
ん
か
け | { | だし汁.....20cc |
| | | 塩・正油・さとう...0.2・3・1 |
| | | 片栗粉.....2g |

Aの具を全部
混ぜて、Bの
油で焼いて、
Cをかけたら
中華風。



昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 H・S・K通
平成4年3月10日発行(毎月10日発行)

発行所 北海道身体障害者団体連合会 刊行物協会 神原義郎

印刷所 札幌市北区北十三条西三丁目 大軍印刷株式会社

頒価三百円